



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月10日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL <https://www.cec-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 仁史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 義幸 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	33,527	△6.8	3,043	△18.5	3,081	△18.9	1,798	△41.2
2021年1月期第3四半期	35,983	△5.5	3,734	△15.9	3,798	△15.7	3,056	5.5

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 2,202百万円 (△23.2%) 2021年1月期第3四半期 2,868百万円 (△4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	51.39	50.99
2021年1月期第3四半期	87.38	86.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	44,947	35,204	77.9
2021年1月期	43,789	34,379	78.1

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 35,010百万円 2021年1月期 34,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2022年1月期	—	20.00	—		
2022年1月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△5.2	4,050	△19.8	4,100	△20.5	2,550	△36.8	72.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	37,600,000株	2021年1月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	2,606,760株	2021年1月期	2,606,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	34,993,261株	2021年1月期3Q	34,983,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年2月1日～2021年10月31日）におけるわが国経済は、海外経済の回復を背景に、製造業を中心としてコロナ禍で先送りになっていた投資再開の動きが広がる一方、半導体の供給不足や原材料価格の高騰など、国内景気の先行きは不透明感が継続しています。

情報サービス産業においては、昨年からのテレワーク環境の整備・強化に向けた需要が一巡した一方、業績悪化を理由に抑制が続いていた企業のICT投資が再開され、特に事業の強化や変革を推進するDX（デジタルトランスフォーメーション）関連の需要が増加しております。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の業績については、戦略的ICT領域であるDX、IoT、クラウド分野におけるシステム開発需要が活性化し受注残高は改善傾向で推移いたしました。しかしながら、前期における特需案件剥落の反動減に加え、主要顧客である製造業分野で一部にICT投資抑制傾向が残るほか、世界的な半導体の供給不足に起因するインフラ構築事業の入札不調や納期遅れ、緊急事態宣言の影響による地方を拠点とする子会社の業績停滞などにより、売上高は335億2千7百万円、前年同期比24億5千6百万円（6.8%）の減となりました。利益面については、減収に伴う利益の減少に加え、一部顧客で発生した不採算案件の影響により、営業利益は30億4千3百万円、前年同期比6億9千1百万円（18.5%）の減、経常利益は30億8千1百万円、前年同期比7億1千7百万円（18.9%）の減となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前期の特別利益剥落と不採算案件にて見込まれる特別損失[※]を計上したことにより、17億9千8百万円、前年同期比12億5千8百万円（41.2%）の減となりました。

※不採算案件における納期遅延に伴い、2022年4月から2022年9月までの顧客先既存システム維持費用を当社が負担することで合意したため、当該費用3億9千6百万円を損失補償引当金繰入額として計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（デジタルインダストリー事業）

デジタルインダストリー事業におきましては、中部地区のモビリティ関連事業は開発サイクルの谷間に入り前期並み、既存のシステム開発事業はICT投資再開により改善傾向で推移いたしました。また、緊急事態宣言解除による事業環境の回復により、第2四半期会計期間を底にスマートファクトリー事業および西日本地区は改善傾向で推移したものの、製品開発支援サービス事業で不採算案件が発生した結果、売上高は116億3千4百万円、前年同期比5億7千3百万円（4.7%）の減、営業利益は21億5千8百万円、前年同期比3億9千1百万円（15.4%）の減となりました。

（サービスインテグレーション事業）

サービスインテグレーション事業におきましては、DXやクラウド化推進等のICT投資が活性化し、日本マイクロソフト社との連携ビジネスやマイグレーションサービスを含むシステム開発事業全般が伸長いたしました。しかしながら、セキュリティサービス事業およびグループ子会社における前期の特需案件剥落に加え、半導体供給不足の影響によるインフラ構築事業の不調や、システム開発事業において不採算案件が発生したことなどにより、売上高は218億9千2百万円、前年同期比18億8千2百万円（7.9%）の減、営業利益は34億8千1百万円、前年同期比2億2千4百万円（6.1%）の減となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

総資産の残高は449億4千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億5千7百万円の増加となりました。これは、おもに現金及び預金が12億4百万円増加したことなどによるものです。

（負債）

負債の残高は97億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億3千1百万円の増加となりました。これは、おもに賞与引当金が6億3百万円増加、損失補償引当金が3億9千6百万円増加、買掛金が4億9千8百万円減少したことなどによるものです。

（純資産）

純資産の残高は352億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億2千5百万円の増加となりました。これは、おもに利益剰余金が3億9千8百万円増加、退職給付に係る調整累計額が2億1千8百万円増加したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の連結業績予想につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,020,684	22,224,981
受取手形及び売掛金	10,452,560	8,870,784
商品	155,099	200,642
仕掛品	548,030	691,434
未収入金	8,915	26,469
その他	911,438	1,032,358
貸倒引当金	△10,467	△6,757
流動資産合計	33,086,261	33,039,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,388,957	3,181,429
土地	2,004,644	2,004,644
その他（純額）	753,496	1,189,973
有形固定資産合計	6,147,098	6,376,048
無形固定資産		
その他	260,851	249,739
無形固定資産合計	260,851	249,739
投資その他の資産		
その他	4,347,561	5,333,456
貸倒引当金	△52,058	△52,058
投資その他の資産合計	4,295,503	5,281,397
固定資産合計	10,703,453	11,907,184
資産合計	43,789,715	44,947,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,151,065	2,652,960
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,600	13,600
未払法人税等	699,348	596,134
賞与引当金	501,479	1,104,723
受注損失引当金	5,950	330,515
損失補償引当金	—	396,000
その他	3,549,375	3,175,657
流動負債合計	8,270,819	8,619,591
固定負債		
長期借入金	41,000	27,400
長期末払金	487,095	487,095
役員退職慰労引当金	25,219	15,557
退職給付に係る負債	114,310	122,525
資産除去債務	462,325	469,772
その他	9,941	202
固定負債合計	1,139,892	1,122,552
負債合計	9,410,712	9,742,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,733,706	6,733,706
利益剰余金	21,799,669	22,198,273
自己株式	△1,663,477	△1,663,539
株主資本合計	33,455,898	33,854,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583,714	762,689
為替換算調整勘定	△12,071	△5,010
退職給付に係る調整累計額	180,130	398,618
その他の包括利益累計額合計	751,773	1,156,297
新株予約権	171,331	194,216
純資産合計	34,379,003	35,204,954
負債純資産合計	43,789,715	44,947,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	35,983,260	33,527,162
売上原価	27,463,822	25,522,304
売上総利益	8,519,437	8,004,858
販売費及び一般管理費	4,785,047	4,961,616
営業利益	3,734,389	3,043,241
営業外収益		
受取利息	2,460	3,245
受取配当金	14,566	15,579
為替差益	924	—
保険配当金	11,275	—
貸倒引当金戻入額	898	4,402
受取保険金	20,000	—
その他	22,309	20,707
営業外収益合計	72,435	43,935
営業外費用		
支払利息	2,688	2,441
為替差損	—	2,941
持分法による投資損失	4,275	—
その他	1,294	476
営業外費用合計	8,258	5,859
経常利益	3,798,566	3,081,317
特別利益		
投資有価証券売却益	865	1,395
固定資産売却益	—	6
特別受取金	530,698	—
特別利益合計	531,564	1,402
特別損失		
固定資産除却損	746	2,786
減損損失	—	18,640
投資有価証券評価損	32,550	—
投資有価証券売却損	4,590	1,269
支払和解金	50,000	—
損失補償引当金繰入額	—	396,000
特別損失合計	87,886	418,696
税金等調整前四半期純利益	4,242,243	2,664,023
法人税、住民税及び事業税	1,156,481	1,224,478
法人税等調整額	28,879	△358,789
法人税等合計	1,185,360	865,689
四半期純利益	3,056,882	1,798,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,056,882	1,798,334

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年2月1日 至 2021年10月31日）
四半期純利益	3,056,882	1,798,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,468	178,975
為替換算調整勘定	△1,329	7,060
退職給付に係る調整額	△223,626	218,487
その他の包括利益合計	△188,486	404,523
四半期包括利益	2,868,396	2,202,858
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,868,396	2,202,858

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,208,080	23,775,179	35,983,260	—	35,983,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,893	371,318	373,211	△373,211	—
計	12,209,973	24,146,497	36,356,471	△373,211	35,983,260
セグメント利益	2,549,449	3,706,941	6,256,391	△2,522,001	3,734,389

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,522,001千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,634,481	21,892,680	33,527,162	—	33,527,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	199	377,998	378,197	△378,197	—
計	11,634,681	22,270,679	33,905,360	△378,197	33,527,162
セグメント利益	2,158,078	3,481,985	5,640,064	△2,596,822	3,043,241

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,596,822千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。